



南文化会館(ジョイフル)の正面入口に向かつて歩くと、屋上に、横に大きく広がる翼のような物が見えます。これは、雁が南側に広がる雑木林を背に羽ばたいている姿をイメージして造られています。



雁は、古くから川越地方を表す歌に詠まれたり、川越城が「初雁城」と呼ばれたりするなど、歴史的に川越とつながりが深いといわれています。平成4年の市制施行70周年を記念し、市の鳥として制定されました。また、同館近くの川越初雁高校の校舎の壁には、教師と生徒の姿に重ねて、雁が隊形を組み飛ぶ姿が描かれています。二つの雁を結びつけるかのように、同校併設の川越特別支援学校川越たかしな分校の生徒たちが植えた花が、ジョイフル入口のプランターで咲いています。



川越初雁高校の校舎に描かれた雁



川越市立診療所 診療業務全面再開

市立診療所は、7月13日(月)から診療業務を全面再開します。

新型インフルエンザ対応のための一部休診期間中は、ご協力ありがとうございました。

問い合わせ…市立診療所
TEL224-2648・FAX224-2689

発熱相談センター の終了について

発熱相談センターは、7月11日(土)で終了します。

その後は、保健予防課で相談を受け付けます。

問い合わせ…保健予防課
TEL227-5102・FAX227-5108



ツルハナナス

道路沿いの、つるが絡まるフェンスに、青紫色と白色の花を見つけました。大きき三センチほどの花が、つるの先端近くに集まって咲いています。五枚の花びらには、房のような膨らみがあります。付け根から広がっているのが、まるで星のように見えます。中心には、黄色のアクセント。漢字で、蔓(つる)花(はな)茄子(なす)と書きます。名前のとおりナス科の植物で、ナスの花によく似ています。一見すると、二色の異なる種類の花が咲いているようにも見えますが、咲き始めは淡い青紫色をしており、だんだんと色が白くなっていくそうです。

